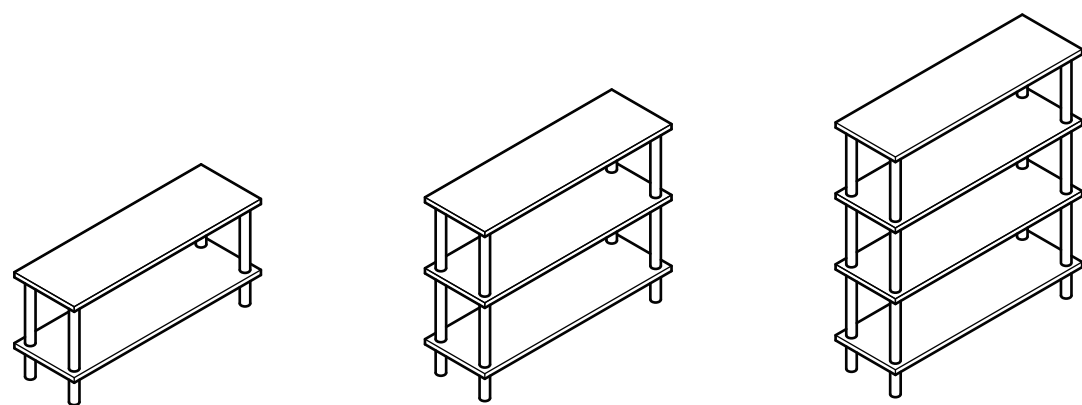


手軽に組み立てられる木製シェルフ
手軽に組み立てられる木製シェルフ
手軽に組み立てられる木製シェルフ

棚2段
棚3段
棚4段



組立・取扱説明書

この度は本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みいただき、内容を理解した上で、正しく組み立て、正しくお使いください。
また、本書はいつでも確認できるように大切に保管してください。

もくじ	ページ
重要なお知らせ(安全上のご注意)	1～3
パーツリスト	4
各部の名称	4
組立方法	5～7
転倒防止補助金具の取り付け	8～9
ご使用方法	10
お手入れ方法	10～11
ご使用に際して	11～12
製品仕様	12
お問い合わせ先	12

重要なお知らせ(安全上のご注意)

必ずお守りください。

本書には、お使いになる方や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

●表示の説明

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。



危険

使用者が死亡や重傷(※1)を負うおそれがあり、かつその度合いが高い内容です。



警告

使用者が死亡または重傷(※1)を負うことが想定される内容です。



注意

使用者が傷害(※2)を負うことや物的損害(※3)が発生することが想定される内容です。

●図記号の説明

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です。)



してはいけない「禁止」の内容です。



実行しなければならない内容です。

※1 重傷とは、失明やケガ、やけど、骨折、中毒、感電などで後遺症が残るもの及び治療に入院、長期の通院を要するものをさします。

※2 傷害とは、治療や入院や長期の通院を要しない、ケガ、やけどをさします。

※3 物的損害とは、家屋、家財にかかわる拡大損害をさします。

収納家具への子供のよじ登りによる家具の転倒で重大事故が発生しています。

家具転倒事故をなくす為、以下に従ってください。



危険



禁止

- お子さまに製品に登る、ぶら下がる、立たせるなどさせないでください。転倒や破損、ケガをするおそれがあります。







警告



禁止

- 製品の上に玩具などお子さまが興味を示すものは置かないでください。お子さまが取ろうとして製品ごと転倒しケガをするおそれがあります。
- 製品の上に乗らないでください。バランスをくずして転倒する、製品の破損によりケガをするおそれがあります。
- 製品の上部のみに片寄って収納しないでください。バランスがくずれて倒れ、ケガをするおそれがあります。
- 上部に重たい物は置かないでください。地震などで物が落ちたり、製品ごと倒れたりして、ケガをするおそれがあります。
- 耐荷重を超えて物をのせたり、耐荷重内でも一部に片寄ってのせたりしないでください。変形や破損の原因となり、ケガをするおそれがあります。
- 修理や改造はしないでください。製品の強度が弱くなり、ケガをするおそれがあります。
- 製品で電化製品の電源コードを踏まないでください。コードが破損し、感電や火災の原因となります。

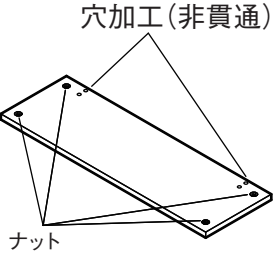
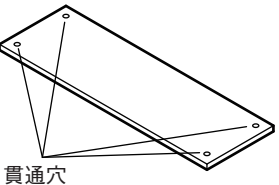
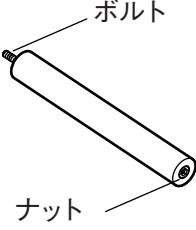
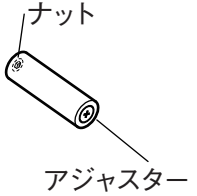



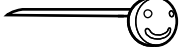


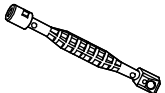
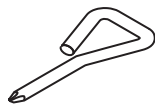
⚠ 警告(つづき)	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●4段を超える高さでは使用しないでください。製品の転倒や破損によりケガをする原因となります。 ●屋外では使用しないでください。変形や著しい劣化が起こり、ケガをする原因となります。 ●移動させる際は、製品を引きずらないでください。製品破損、床面へのキズ、ケガをする原因となります。 ●不要になった梱包材は、幼児の手の届くところに置かないでください。頭からかぶるなどしたときに、口や鼻をふさぎ、窒息するおそれがあります。 ●フィッティングパーツは幼児の手の届くところには置かないでください。また、なくさないでください。これらは小さく、誤飲してしまうと窒息などのおそれがあります。
 行う	<ul style="list-style-type: none"> ●重たい物は下部に、軽い物は上部に収納してください。重たい物を上部に収納すると、製品が転倒しやすくなりケガをするおそれがあります。 ●使い始める時は、室内の換気を十分にしてください。接着剤などに含まれるホルムアルデヒドが残っている可能性があり、化学物質に敏感な体質の方や乳幼児などアレルギー症状をおこすおそれがあります。 ●小さなお子さまのいるご家庭では角部に市販の保護材を使用してください。転倒などした場合に、ケガを防いでくれます。 ●付属の転倒防止補助金具は、必ず取り付けてください。取り付けない状態で使用すると、使用中に製品が転倒しケガをする原因となります。 ●建物の壁や天井、床などに耐震用の固定用金具や固定部材でしっかりと製品を固定してください。地震による振動で過度の負荷が掛かった場合、製品の転倒によりケガの原因となります。 ●電化製品などを収納する場合、電化製品付属の取扱説明書をよく読み、十分に隙間をあげ通気性をよくしてご使用ください。電化製品の故障や火災の原因になります。

⚠ 注意	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●指定の用途以外で使用しないでください。破損してケガをするおそれがあります。 ●破損や変形した状態では使用しないでください。製品の強度が弱くなりケガをするおそれがあります。 ●組み立てが不完全なまま使用しないでください。固定部分がはずれてケガの原因になることがあります。
 行う	<ul style="list-style-type: none"> ●棚一枚当りの耐荷重が範囲内であっても、棚全体の耐荷重を超えないようにしてください。変形や破損の原因となり、ケガをするおそれがあります。 ●組み立てや設置の際には指や手をはさまないようにしてください。ケガをする原因となります。 ●平らで安定した場所に設置してください。不安定な場所での使用は、製品のゆがみ、破損の原因になることがあります。 ●組み立ては大人2人以上で行ってください。1人で作業すると転倒、破損、床をキズつける、ケガの原因となります。 ●各部にゆるみがないか定期的に点検し、ゆるんでいたらしっかり締め直してください。ケガや製品破損防止になります。 ●引越しなどでは組み立て前の状態に戻してから運んでください。ケガや製品の破損、床面がキズつくおそれがあります。

お願い(その他 注意)

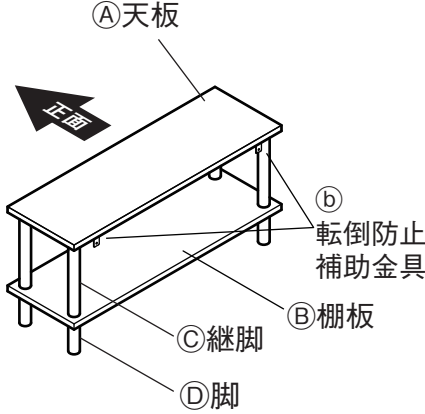
- シンナーなどの有機溶剤や漂白剤などの薬剤でお手入れしないでください。変色や変形の原因となります。
- 塗装やプラスチック部にアルコールを含む消毒剤などが垂れた場合にはすぐにふき取ってください。また、過度なアルコール消毒剤でのふき掃除はお避けください。表面が変色や変質することがあります。
- 長時間、化学雑巾を接触させたままにしないでください。変色や表面がはがれる原因となります。
- 直射日光や冷暖房器具などの熱や風が製品に直接当たらないようにしてください。反りやゆがみ、割れ、変色などの原因になります。
- 廃棄の際は、居住地域の自治体のルールに従い、処分してください。
- 鉄でできたものを製品の上に直接置かないでください。木製シェルフが濡れていたりすると、鉄成分によって表面が黒く変色するおそれがあります。
- 組み立ての際は、手袋などをつけて作業してください。思わぬケガの防止になります。

パーツリスト


①天板		②棚板	③継脚	④脚
				
棚2段	×1	×1	×4	×4
棚3段	×1	×2	×8	×4
棚4段	×1	×3	×12	×4
フィッティングパーツ (棚2段、棚3段、棚4段 共通)				
①a) 連結ボルト × 4 				
転倒防止補助金具 (棚2段、棚3段、棚4段 共通)				
①b) 転倒防止補助金具 × 2 	①c) ネジ × 8 	①d) 樹脂ピン × 2 	①e) 細ピン × 6 	
①f) 樹脂ピン用キャップ × 2 	①g) ピン押し具 × 1 		①h) プラスドライバー × 1 	

各部の名称

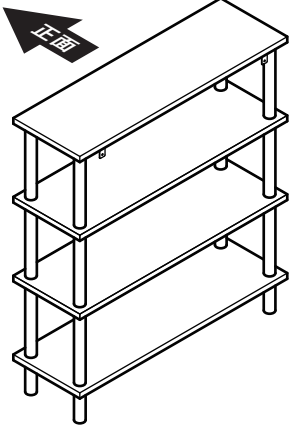
※ 棚2段、棚3段、棚4段で各部の名称は共通です。



棚2段



棚3段



棚4段

(完成図)

組立方法

※ 組立手順は棚2段、棚3段、棚4段ともに共通ですが、部品の数が異なります。

※ イラストには 棚2段 を使用しています。

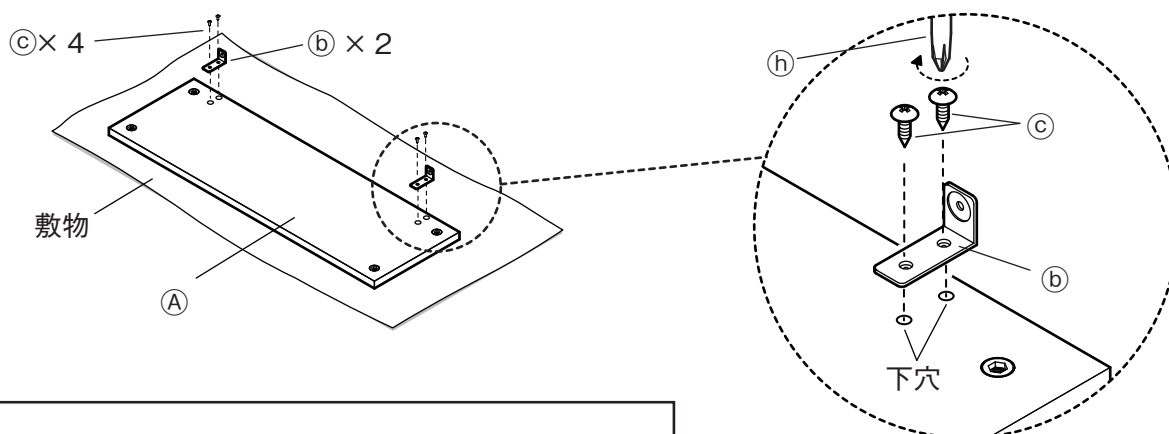


注意

- ❶ 組み立ては、大人2人以上で行ってください。1人で作業すると、転倒や破損、床をキズつける、ケガの原因となります。
- ❷ 組み立てには電動工具は使用しないでください。無理な負荷がかかると、製品破損によりケガをするおそれがあります。
- ❸ 組み立て時は、組み立てに必要なスペースを十分に確保し、敷物を敷いてください。床や既存の家具のキズ防止になります。
- ❹ 組み立ての際は、手袋などをつけて作業してください。思わぬケガの防止になります。

1

① 天板に、②転倒防止補助金具を③ネジで固定します。

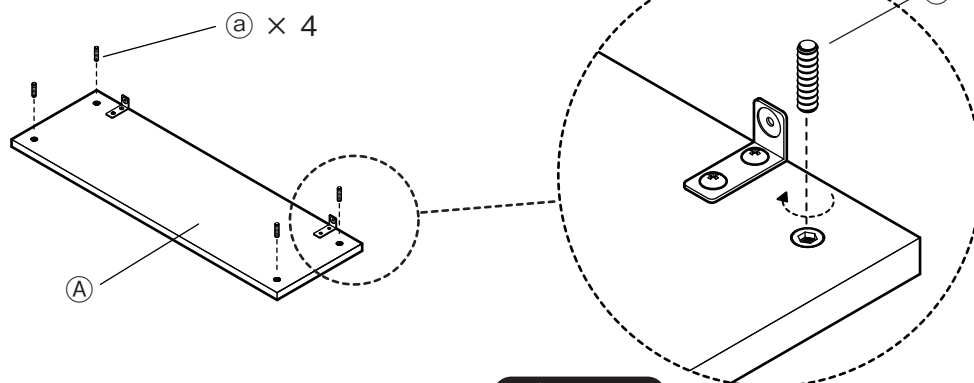


注意

- ❶ ②、③は下穴の位置に合わせて取り付けてください。

2

❶ に、④連結ボルトを取り付けます。



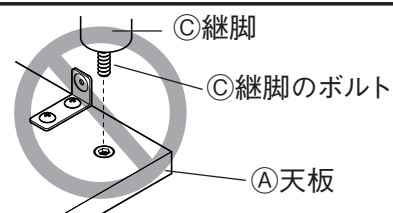
ポイント1

- ④連結ボルトに上下前後の向きはありません。
- ④連結ボルトを指で持ち、まっすぐに取り付けて止まるところまで回してください。



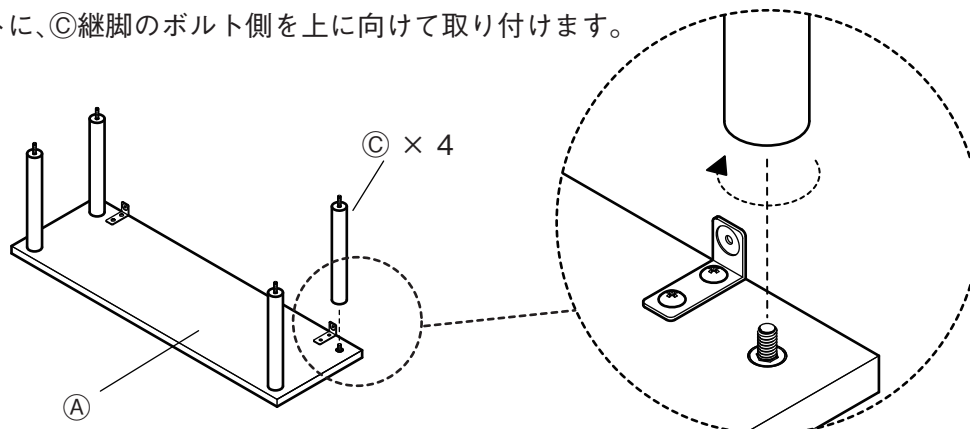
注意

- ❷ 無理に締め付けようとすると、ケガや製品破損の原因になります。
- ❸ 組み立ての際は、手袋などをつけて作業してください。思わぬケガの防止になります。
- ❹ 天板に、⑤継脚のボルトを取り付けしないでください。天板が割れて、破損やケガのおそれがあります。



組立方法 (つづき)

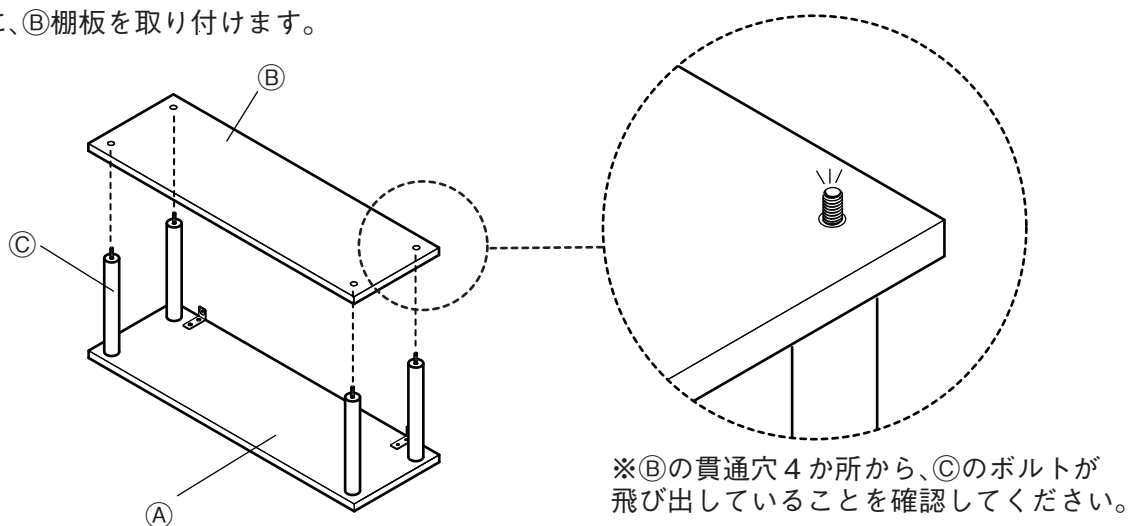
3 **2** のボルトに、**◎**継脚のボルト側を上に向けて取り付けます。



注意

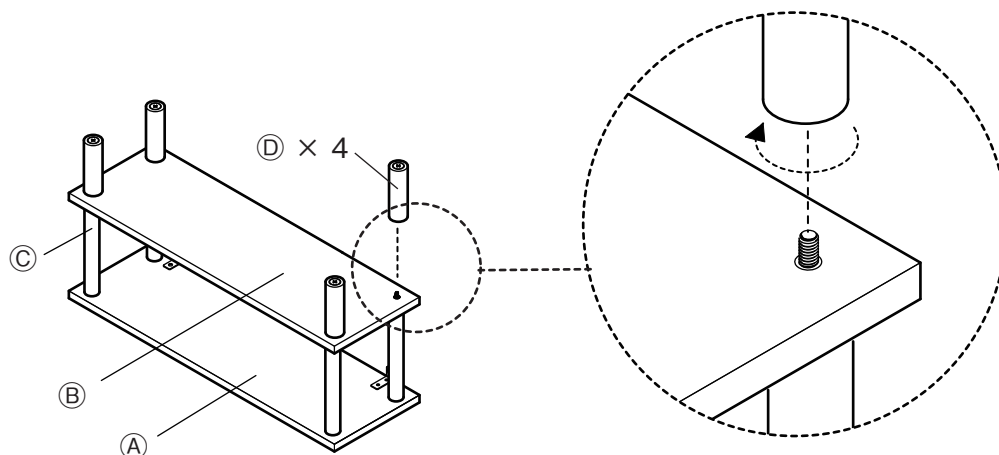
◎ **◎**継脚の取り付けは軽く締まったら、それ以上締め付けしないでください。無理に締め付けると、ケガや製品破損の原因になります。

4 **3** に、**◎**棚板を取り付けます。



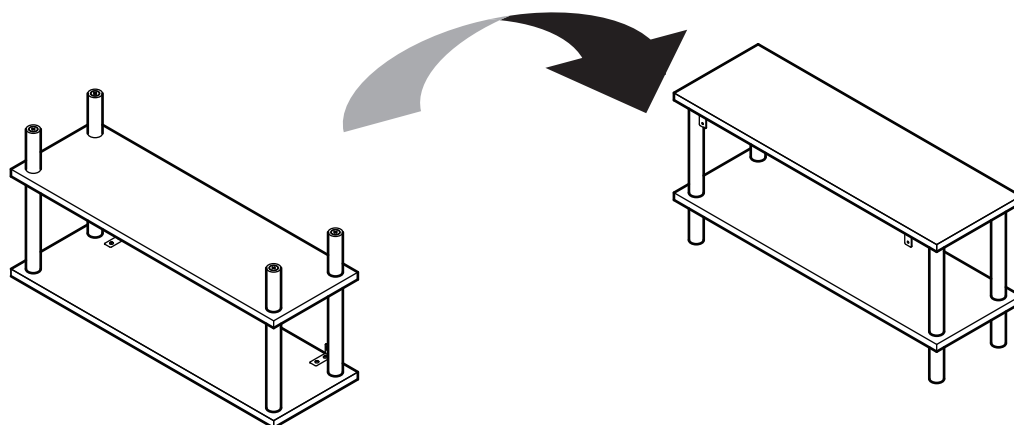
5 棚3段と棚4段は、手順 **3** と **4** を繰り返して、**◎**棚板と**◎**継脚を取り付けます。

6 **◎**脚を取り付けます。

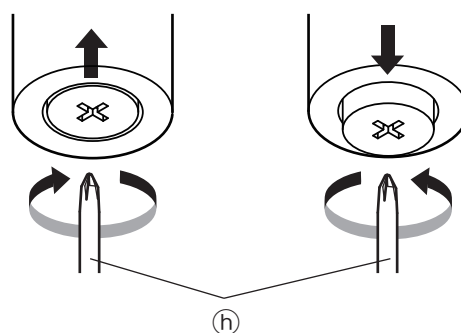


組立方法（つづき）

- 7** ㉔継脚と㉔脚が、ゆるみなく取り付けされていることを確認してから、二人以上で静かにひっくり返して、設置する場所へ運んでください。






- 8** 設置した場所でガタツキがある場合は、㉔脚の裏側にあるアジャスターを回して、高さを微調整してください。



⊙ アジャスターは無理に長く出して使用しないでください(目安5mm程度まで)。それより長く出して使用すると、アジャスターが破損してケガ、製品破損、床面へのキズの原因となります。

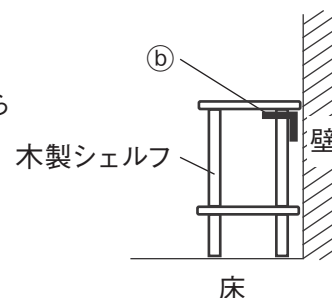
- 9** 転倒防止補助金具を設置した場所の壁面に取り付けてください。
(次ページを参照)

転倒防止補助金具の取り付け

<div style="text-align: center;">  警告 </div>	
 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ●耐震用の固定用金具として利用しないでください。地震などによる振動や、製品に寄り掛かるなど、過度の荷重が掛かった場合、金具がはずれて製品が転倒し、ケガをするおそれがあります。 ●㊦転倒防止補助金具、㊣ネジ、㊤樹脂ピン、㊥細ピンは、破損や変形した状態で使用しないでください。強度が弱まり製品が転倒し、ケガをする原因となります。
 行う	<ul style="list-style-type: none"> ●取り付ける壁面が、製品をしっかりと固定出来る住宅の構造（内装材や梁など）であることを確認したうえで設置してください。誤った位置に固定すると十分な強度が得られず、製品が転倒し、ケガをする原因となります。 ●製品と壁に固定した㊣ネジ、㊤樹脂ピン、㊥細ピンなどは、根元まで確実に取り付けたことを確認し、その後も定期的に点検してください。また、地震などの激しい揺れや衝撃が加わった後にも必ず確認してください。点検の結果、ゆるみがあった場合は、製品の設置位置を変えて、取り付けてください。ゆるんだまま使用すると、金具がはずれる事による過度の製品の揺れや、ゆがみが発生するだけでなく、転倒し製品の破損や思わぬケガをする原因となります。

転倒防止補助金具の取り付け準備

- ㊦天板のウラ面に、取り付け済みの㊦転倒防止補助金具を壁側にして、平らで安定した場所に木製シェルフを設置してください。

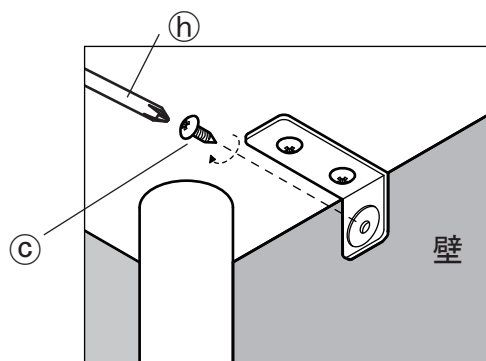


取り付ける壁の状況を確認し、㊦転倒防止補助金具を壁に取り付けます。

A：㊣ネジで固定する（取り付けられる壁または場所：木材（柱や壁の下地材（間柱）などの場合））

※石こうボードの壁でも、壁の内側の間柱などの下地材を利用してネジで固定できる場合があります。取り付ける壁の状態をご確認ください。

- ㊦転倒防止補助金具を壁に押し付けて、㊣ネジを壁に垂直に㊨プラスドライバーで固定してください。

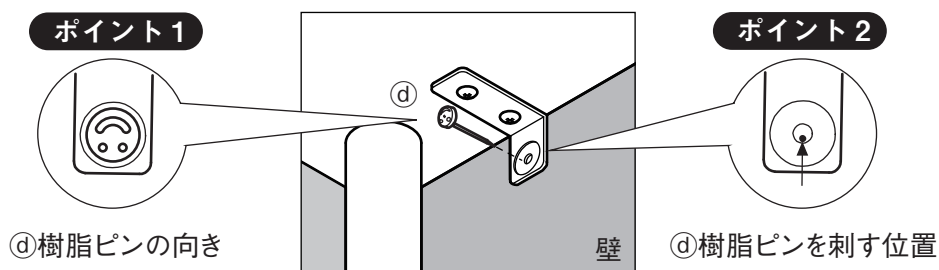


転倒防止補助金具の取り付け(つづき)

B：④樹脂ピンと⑤細ピンで固定する（取り付けられる壁：石こうボード）

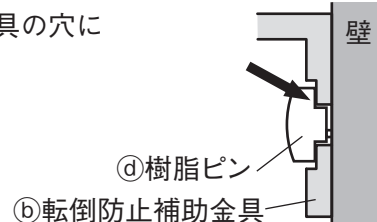
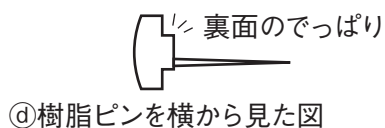
- 石こうボードとは不燃を目的として現在の戸建て住宅やマンション建築（浴室以外）の多くの壁に使われています。
- 石こうボードかどうか見分けるには画びょうなどを刺して、抜いた時に白い粉がつくことを目安に判断してください。石こうボードが使われている壁は表面がビニール素材のクロス張りが一般的です。

① ④樹脂ピンを、穴内側に接する様に刺します。



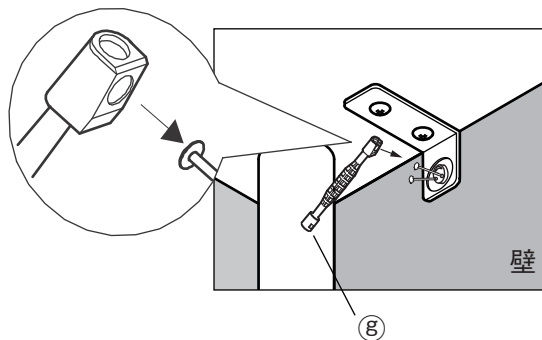
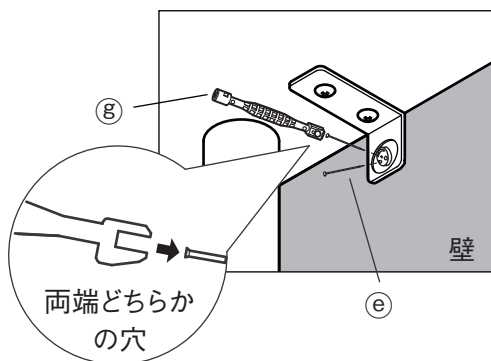
注意

- ❗ ④樹脂ピンの裏側の丸いでっぱりが、⑥転倒防止補助金具の穴にしっかり入っていることを確認してください。

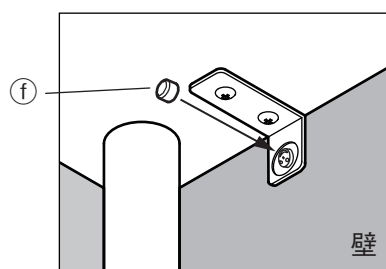


② ⑤細ピンを④樹脂ピンの穴に通し、⑧ピン押し具を使って壁面に差し込みます。

⑧ピン押し具を持ち替えて、⑤細ピンを最後まで差し込んでください。



③ ⑦樹脂ピン用キャップを取り付けてください。



C：市販のアンカーボルトや転倒防止器具を用いて固定する。（取り付けられる壁：コンクリート壁など）

壁の状況に適した、市販のボルト(⑥転倒防止補助金具の穴直径5mmより小さいもの)などを用いて固定してください。



警告

- ❗ 使用する市販のボルトなどの固定具は壁の素材に適し、十分強度が得られるものをご使用ください。強度が不足していると製品が転倒し、ケガをするおそれがあります。

ご使用方法



警告

⊙ 4段を超える高さでは使用しないでください。製品の転倒や破損によりケガをする原因となります。

収納について



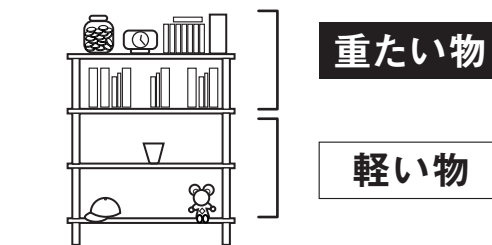
警告

⊙ 上部に重たい物は置かないでください。地震などで物が落ちたり、製品ごと倒れたりして、ケガをするおそれがあります。



不安定になりやすい使い方

(例)



※イラストには 木製シェルフ 棚4段を使用しています。

移動について

〈組み立てた状態で少し動かす場合〉

●移動させる際は、収納物を取り除き、壁から転倒防止補助金具を取り外して、大人2人以上で左右から製品の下に両手を掛け、床面を引きずらないように持ち上げて運んでください。床や既存の家具のキズ防止になります。

〈引越しなどで運ぶ場合〉

●移動をする際は、組み立て前の状態に戻してから運んでください。途中でパーツがはずれると、破損、ケガをするおそれがあります。

廃棄について

●廃棄の際は、居住地域の自治体のルールに従い、処分してください。

お手入れ方法

保守点検

●脚や継脚や金具類にゆるみやグラつきがないか定期的に点検し、ゆるんでいたらしっかり締め直してください。ケガや製品の破損、床面へのキズ防止になります。

●点検により破損箇所や変形箇所を発見した場合は、直ちに使用を中止してください。そのままご使用を続けた場合、変形、転倒や破損、ケガをするおそれがあります。

●害虫を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。放置すると虫害が拡大するおそれがあります。

お手入れ方法(つづき)

木部のお手入れ

- 塗装面のほこりはやわらかい布または、はたきで軽く払ってください。
- 汚れのひどい時は、3～5%に薄めた中性洗剤を浸した布で汚れを落とし、その後、水で浸した布で洗剤分をよくふき取ってください。次に乾いた布で軽くふいた後、自然乾燥させてください。
- 長時間、化学雑巾を接触させたままにしないでください。変色や表面がはがれる原因となります。
- 製品の上で陶器など底のざらついた物を直接置いて引きずらないでください。棚板がキズついたり、凹む原因となります。
- アルコールを含む消毒剤などが垂れた場合には、すぐにふき取ってください。また、過度なアルコール消毒剤でのふき掃除はお避けください。表面が変色や変質することがあります。

金属部のお手入れ

- 毎日のお手入れはやわらかい布で乾ぶきしてください。
- 汚れのひどい時は、3～5%に薄めた中性洗剤を浸した布で汚れを落とし、その後、水で浸した布で洗剤分をよくふき取ってください。次に乾いた布で軽くふいた後、自然乾燥させてください。
- 金属部には、防錆潤滑油を薄く塗り、やわらかい布でふき取ってください。

ご使用に際して

天然木製品について

- 本製品は天然木(突板)を使用しているため、製品ごとに天然木材特有の個体差(木目や色合いなど)がありますが、あらかじめご了承ください。
- 天然木(突板)は下記の条件により、割れや反りなどが発生することがありますので、ご注意ください。
 - ・直射日光の当たる場所でのご使用は出来る限りお避けください。どうしても直射日光が当たる場合は、カーテンなどで出来る限り日差しを避けてご使用ください。
 - ・冷暖房器具の近くでのご使用は出来る限り避け、必ず冷暖房の風が直接当たらないようにしてください。
 - ・特に冬の暖房による室内の極端な乾燥は、天然木の割れ、反りを発生させる原因となります。

ホルムアルデヒドの対策について

- ホルムアルデヒドとは
シックハウス症候群の原因物質の一つといわれています。常温で気化する、無色で刺激臭のある化学物質で、家具はもとより建築資材・壁紙を貼る接着剤などに含まれています。少しずつ放散されるため、ホルムアルデヒドに汚染された室内に長時間いると目がチカチカしたり、喉に不快な刺激を感じたりすることがあります。濃度が高いと呼吸困難を起こす場合もあります。
- お部屋の換気について



- 家具を設置の際は、室内の換気を十分にしてください。
化学物質に敏感な体質の方や乳幼児などアレルギー症状を起こすことがあります。

ホルムアルデヒドは空気中に放散されやすいので、普段からこまめに室内の換気を行うようにしてください。特に複数の家具を同時に設置した場合は、窓をできるだけ広く開け、十分な換気を行ってください。室内の温度が高くなると、ホルムアルデヒドは多く放散される傾向がありますので、夏季に室内を長時間閉め切っている場合は、特に換気をするようにご注意ください。換気効率をあげるため複数の窓を開ける、換気扇、扇風機、サーキュレーターの利用をおすすめします。

ご使用に際して（つづき）

- 化学物質に敏感な体質のお客さまへ
ホルムアルデヒドに限らず、シックハウス症候群に該当する化学物質の許容量には個人差があり、室内濃度指針値（健康上望ましいとされるホルムアルデヒドの室内濃度値）以下の濃度であっても反応する体質の方もいらっしゃいます。現段階の無印良品の家具においても、ホルムアルデヒド放散量の少ない材料を極力使用しておりますが、まったく放散されないわけではありませんので、ご注意ください。
アレルギー症状が起きた際は、医師にご相談されることをおすすめします。
- ホルムアルデヒド吸着・分解シートについて
狭い空間ではホルムアルデヒドは逃げ場がなく、材料に再吸着する可能性がありますので、お手元に届くまで少しでもホルムアルデヒド濃度を低下させるために、無印良品の家具には、ホルムアルデヒド吸着・分解シートを同梱しています。
※同梱の「ホルムアルデヒド吸着・分解シート」は効力が落ちておりますので、燃えるゴミとして処分してください。

製品仕様

品名	手軽に組み立てられる 木製シェルフ 棚2段	手軽に組み立てられる 木製シェルフ 棚3段	手軽に組み立てられる 木製シェルフ 棚4段
J A N	4550723043229	4550723043236	4550723043243
製品寸法	約幅880×奥行282×高さ431mm	約幅880×奥行282×高さ720mm	約幅880×奥行282×高さ1010mm
製品重量	約6.7kg	約10.3kg	約13.8kg
用途	収納家具（シェルフ）		
耐荷重	棚1枚	約20kg（棚全体で均等に荷重をかけた場合）	
	全 体	約30kg	約40kg
材 質	天板、棚板：天然木化粧繊維板（オーク突板） 継脚、脚：天然木（オーク材） 転倒防止補助金具、ネジ、プラスドライバー：金属（鋼） 樹脂ピン、細ピン：金属（ステンレス鋼）、ポリプロピレン 樹脂ピン用キャップ、ピン押し具：ABS樹脂		
表面加工	天板、棚板：アクリル樹脂塗装 継脚、脚：ウレタン樹脂塗装 転倒防止補助金具：エポキシポリエステル粉体塗装		
原 産 国	インドネシア		

お問い合わせ先

製品のお問い合わせは、お買い上げの販売店もしくは下記お客様相談室までご連絡ください。

株式会社 良品計画

お客様相談室でんわ
0120-14-6404